

【参考】

アジアスマートシティ会議宣言（訳）

日本政府より「環境未来都市」のひとつとして選定された横浜市は、アジア諸都市における豊かな都市生活と持続的なグリーン成長を目指し、低炭素化社会に関する先見的なビジョンや先進的な技術を共有すべく、アジアスマートシティ会議を開催した。

この会議は、2012年10月31日、横浜市において、バンコク市（タイ王国）、セブ市（フィリピン共和国）、コロombo市（スリランカ民主社会主義共和国）、ダナン市（ベトナム社会主義共和国）、ジャカルタ市（インドネシア共和国）、北九州市（日本）、マカッサル市（インドネシア共和国）、マカティ市（フィリピン共和国）、ペナン市（マレーシア）、スバ市（フィジー共和国）、ヤンゴン市（ミャンマー連邦共和国）、横浜市（日本）の代表者の参加を得て開催された。

参加都市は、経済発展を遂げ、住みやすく持続可能な社会を実現するために、再生可能なエネルギーの活用や、スマートテクノロジーを導入した防災、水供給、排水処理、廃棄物処理、都市交通システムなどの社会基盤整備を進め、スマートシティを構築していくことが重要であるとの共通の認識を持った。

本会議は、アジア新興国の都市課題解決に有意な役割を果たしている日本国政府や国際関係機関の参加を得、参加諸都市は、多様な文化と歴史を有するそれぞれの都市の状況にふさわしいスマートシティを実現していくために不可欠な、数多くの有益な示唆と啓発を受けた。

参加諸都市は、「アジアスマートシティ会議」を契機として、都市間相互の協力と連携をさらに深めていくため、今後も関係国際機関とともに定期的にこのような会議を開催し、アジア都市間の協力関係を強化し、スマートなまちづくりを一層進めていくことで合意した。

2012年10月31日

参加都市を代表して
横浜市長 林 文子